

「CT 画像から算出可能な線量指標を用いた患者被ばく線量に関する後向き観察研究についてのご説明」

1. 研究の対象

2011 年 4 月 1 日～2017 年 12 月 31 日までの間に CT 検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

「CT 検査は短時間で任意の断面の画像を取得できる有用な検査ですが、X 線を用いるため被ばくが生じる検査です。本研究では撮影された画像を用いて、実際の被ばく線量がどの程度であったかを解析しております。この結果、当院で施行される CT 検査の被ばく線量を体系的にまとめることが可能となり、今後の医療被ばくを低減するための考察を行っております。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。」

● 研究期間

2016 年 7 月 19 日から 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重 等

試料：CT 画像

4. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記問い合わせ先までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、提供を希望しない場合は、いつでも下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合は、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。

ただし、あなたから研究対象とはしないでほしいとご連絡を受けた時点で、既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ないことがあります。

問い合わせ先・研究責任者

〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学附属病院 放射線診断科

研究責任者 畠中 正光

【平日 TEL (011)611-2111 内線 35010 (教室)

休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 35420 (1 階南病棟)】

-----以上